



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 山口県 】

学校名【 岩国市立修成小学校 】

1 実践テーマ	I・II・(III)・IV・(V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：岩国市立修成小学校全校児童（12名） 岩国市立周北小学校全校児童（8名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（体育：一流アスリートによる運動教室） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピック教育を推進し、運動・スポーツへの関心を高め、運動習慣の定着・改善を図るとともに、著名なスポーツ選手による講演やデモンストレーションから、自らの生き方について考えることができるようにする。
5 取組内容	<p><事前学習></p> <p>「東京オリンピック・パラリンピックについての事前学習」 7月から8月にかけて行われる東京オリンピック・パラリンピックを前に、オリンピック・パラリンピックについて調べ学習を行った。特にパラスポーツについては、以前から知っている種目はもちろん、知らない種目についても調べ、夏休みに行われるオリンピック・パラリンピックに向けて関心を高めた。</p> <p>「学校司書との連携」 図書室に「オリパラ図書コーナー」を設置し、興味をもった児童が関連する本を手にとって読むことができるようにした。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p><オリパラ図書コーナー></p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><事前の調べ学習の様子></p> </div> </div>

	<p><事業実施日></p> <p>「オリパラ教室」12月14日(火)</p> <p>講師 大浜 真 氏(車いすバドミントン 2019全日本強化指定選手)</p> <p>子どもたちが、実際に競技用の車いすに乗って、大浜選手とおにごっこをしたりバドミントンを行ったりした。日頃は障害をもった方と交流する機会が少ない中、貴重な経験であった。子どもたちは、大浜選手と交流する中で、「障害者スポーツ」についてだけでなく、「障害者」や「障害」について知り、どのように接し、どのように関わっていけばよいか、自分の考えをもつことができた。</p> <p>事業実施後は、自分の振り返りをもとに、大浜選手にお礼の手紙を書いた。</p>  <p><大浜選手との交流の様子></p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習で、パラスポーツについての調べ学習を行ったことで、それまでは知らなかった種目について関心をもち、多くのパラリンピック種目をテレビ観戦するなどパラスポーツに対する関心を高めることができた。 ○ パラスポーツの運動教室を実施したことで、障害者スポーツへの関心をもつとともに、障害をもったアスリートと直に交流することで、障害や障害者についてより深く考えることができた。 ○ オリパラ教室実施後、休み時間にバドミントンをやってみるなど運動への意欲が高まり、進んで運動に取り組む児童が増えた。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事前学習で、パラスポーツについて調べ学習を行ったことで、児童のパラスポーツへの興味が高まり、オリンピック・パラリンピックへ向けた関心の高まりと、オリパラ教室への期待感の高まりなどがみられたこと。 ○ 岩国市立周北小学校との合同開催としたことで、より多くの児童のスポーツや運動に対する興味・関心が高まったこと。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道具を使う競技の場合には、新型コロナウイルス感染症への対応として、なるべく道具を共有しない、使った道具はすぐに消毒するなど、リスクを低減させるための負担が大きい。 ○ 小規模校のため、集団でのスポーツ(ゲーム等)を自校のみで行うことが難しいので、どうしても個人競技中心になってしまう。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの児童にスポーツや運動に対する興味・関心をもってもらうため、小規模校ならではの取組(他校との合同開催、地域の方との交流など)を進めていく。